

湖北広域行政事務センター

# 新一般廃棄物処理施設整備運営事業

## 事業化シミュレーション 前提条件から総合評価 (2)

### ◇事業化シミュレーションの内容について [1]

各事業方式において、事業費の最小化や資金調達及び財政支出の平準化の視点からの評価と、センターと民間事業者とのリスク分担、透明性及び公平性の確保などの視点で評価を行います。

#### 1. 定量評価 (経済性の検討)

各事業方式における財政支出効果である **VFM(Value For Money)** を比較、評価するものです。従来方式と比べて、DBO 方式及び PFI 方式(BTO)の方が、ライフサイクルコスト(LCC)<sup>※1</sup>をどれだけ削減できるか算定します。事業方式毎に整理し、事業期間は、全事業方式とも同一の期間にて設定するものとします。

#### ●事業化シミュレーションの手順 <3つの工程>

##### (1). 前提条件の設定

- ①従来方式における建設費、運営費の設定。
- ②従来方式の資金調達・償還計画(交付金、起債、金利等)の設定。
- ③DBO方式とPFI方式(BTO)の建設費、運営費の設定。
- ④DBO方式とPFI方式(BTO)の資金調達・償還計画(交付金、金利等)の設定。
- ⑤事業の成立条件の検討。

##### (2). 事業化シミュレーション

設定した前提条件を基に各事業方式について、事業期間中におけるセンターの財政支出を算出。(ライフサイクルコストを算定)

##### (3). 財政支出の評価

センター財政支出に社会的割引率を用いて、現在価値化<sup>※2</sup>し算出。従来方式と比べて、DBO方式及びPFI方式(BTO)の財政支出削減効果(VFM)を整理。(各事業方式の財政支出負担額を比較)

#### ※1 ライフサイクルコスト(LCC)とは?

設計・建設費、事業期間中の維持管理費・運営費等の事業に係るすべての費用です。

#### ※2 現在価値化とは?

想定される期間の総費用を現在の価値に換算したものです。例えば、現在の100円は、10年後の100円よりも価値が高いという考え方にに基づき、将来の支出をある一定の割引率を用いて割り引くといった考え方です。

